

## 第2章 調査回答者の属性

### 第1節 調査回答者の基本的属性(問1～9)

まず今回の調査対象者の基本的な属性を整理する。なお、すべての詳細な回答数及び割合は付表の基本集計を参照されたい。

**年齢:**年齢に回答のあった男女を通じた平均年齢は、72.12 歳であった。年齢分布は男女ともに 70～74 歳の層が最も多く、それ以上、それ以下になるほど人数が少なくなる分布である。(図 2-1)

**性別:**性別は有効回答では男性が 264 人(62.7%)、女性が 157 人(37.3%)であった。

**最終学歴:**最終学歴は全体としてみると「短大・大学」が最も多く(45.3%)、ついで「高等学校」が続く(36.8%)。男女別でみると、男性の方が「短大・大学」の割合が高く(男性:56.1%, 女性:27.1%)、女性は「高等学校」(男性:30.7%, 女性:47.1%)または「その他」(男性:4.5%, 女性:11.0%)が多い。年齢別では、75 歳以上の層で「その他」が多く、「高等学校」が少ないという傾向がみられ、時代による影響が表れている。(図 2-2, 図 2-3)

**同居家族:**同居家族としては「配偶者」が最も多く(73.2%)、ついで「子ども」(21.6%)、「同居家族なし」(18.5%)が続く。性別による違いが顕著で、女性は男性に比べて同居家族のいない独居者が多く(男性:7.2%, 女性:37.6%)、配偶者と同居している割合が低い(男性:90.5%, 女性:43.9%)。また年齢が高くなると配偶者と同居する割合は低くなり、同居家族なしが増えていく。(図 2-4, 図 2-5)

図 2-1 男女別年齢構成

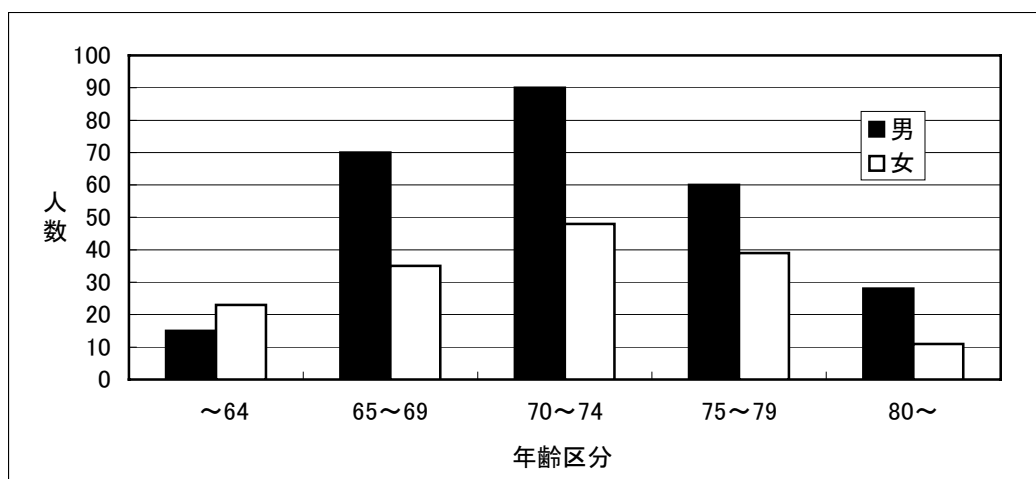


図 2-2 最終学歴(男女別)

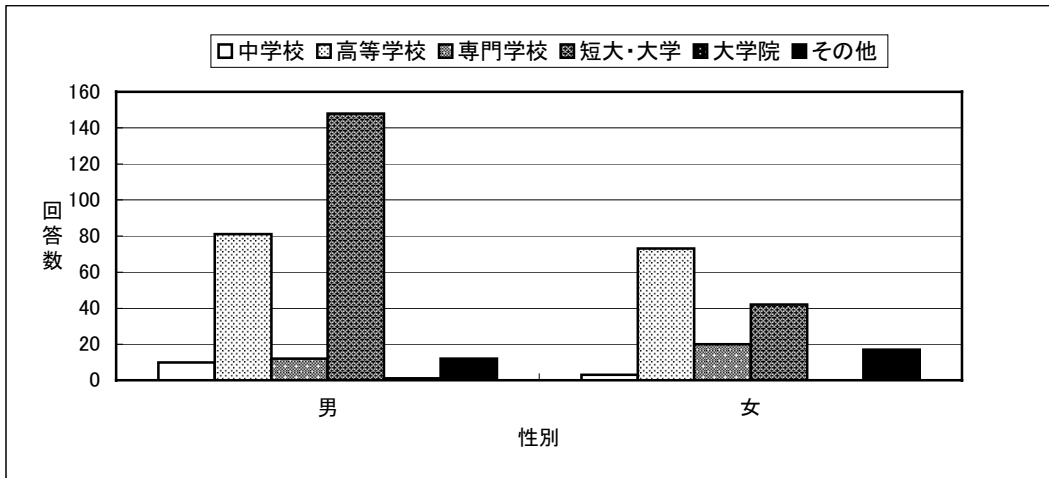


図 2-3 最終学歴(年齢別)

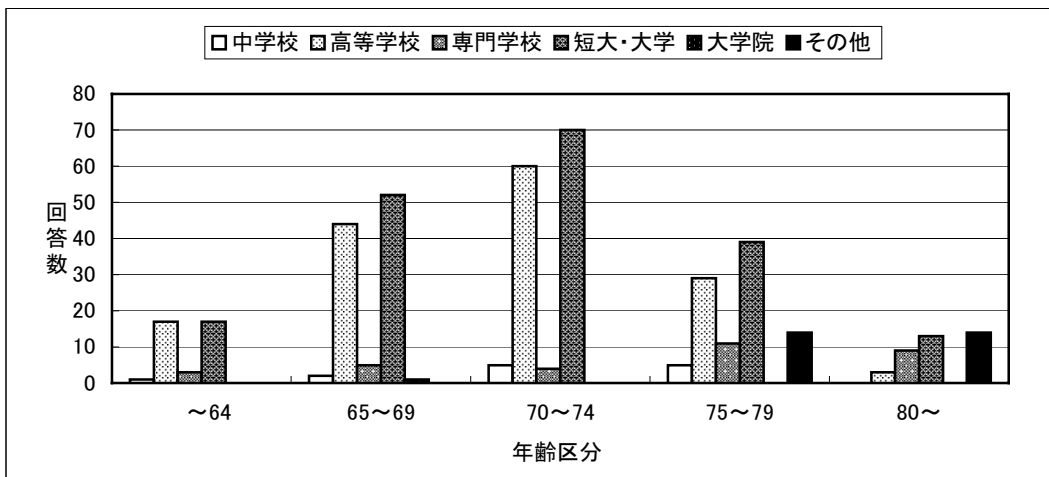


図 2-4 同居家族(男女別)

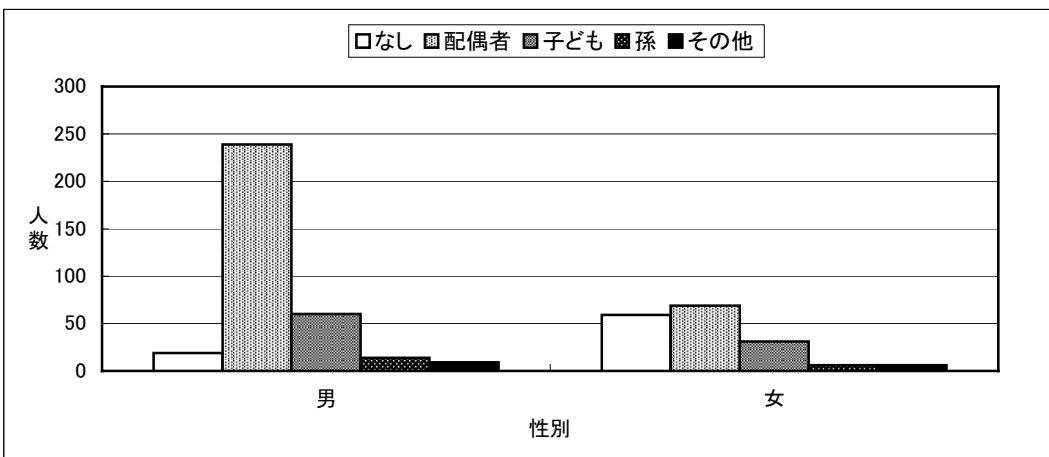
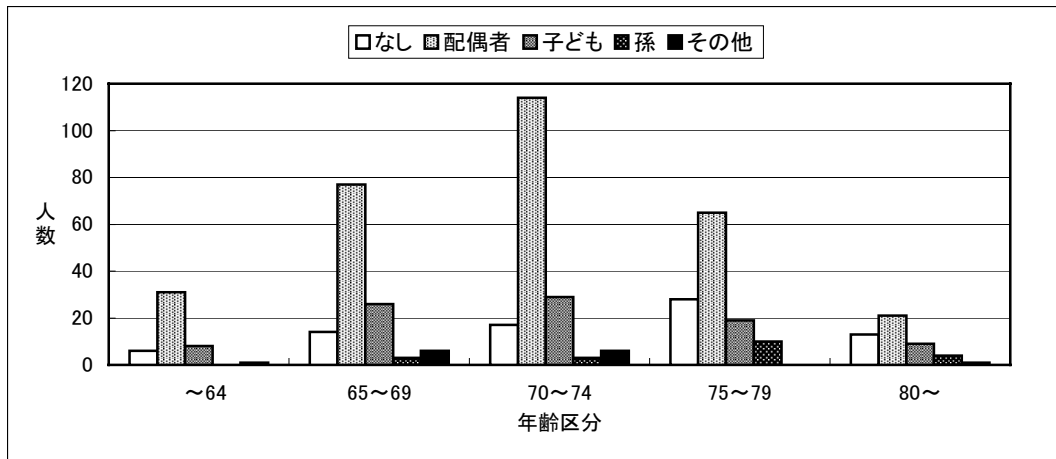


図 2-5 同居家族(年齢別)



**健康状態:**健康状態は「良好」・「概ね良好」が9割を占め、回答者には健康状態に問題をかかえた人は少ない。性別では女性の方が若干、良好と回答した人の割合が高い。(図 2-6, 図 2-7)。

図 2-6 健康状態(男女別)

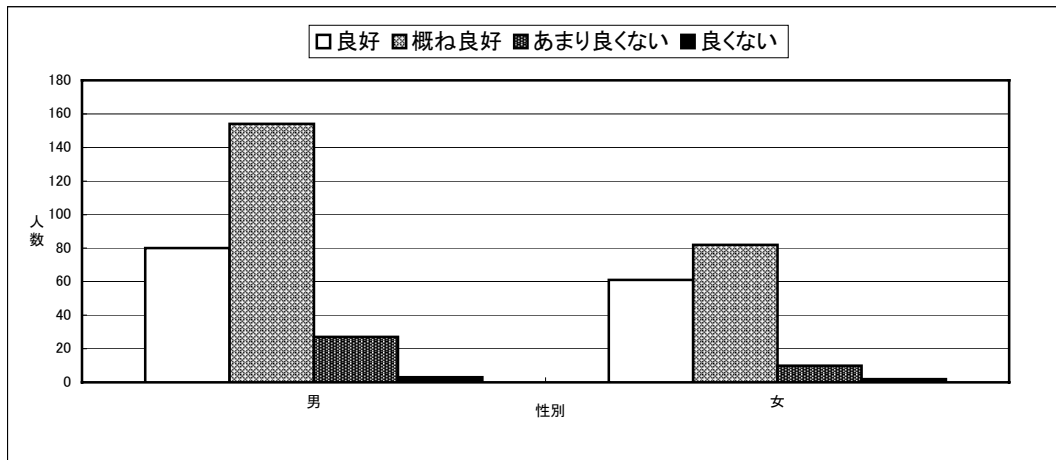
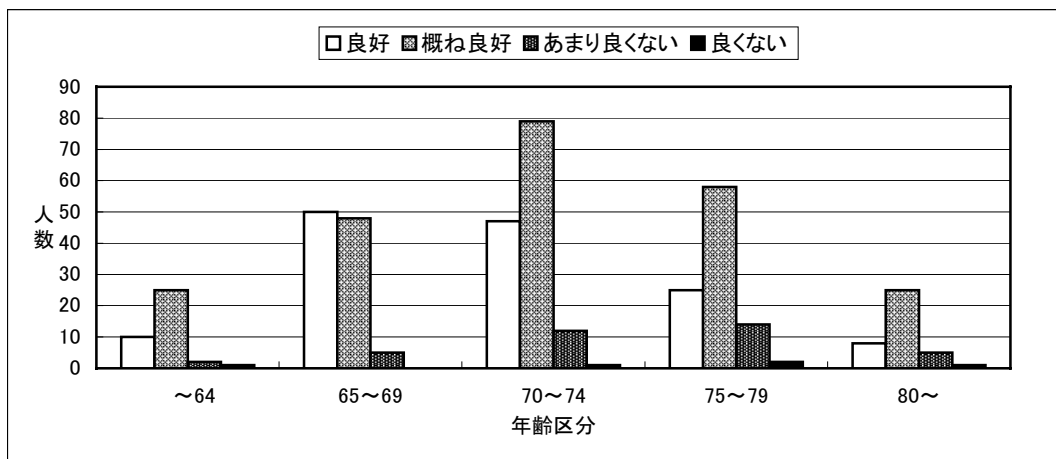


図 2-7 健康状態(年齢別)



**居住地:**回答者の居住地は京都市内(281人)と京都市外(137人)でほぼ2:1の比率であった。京都市外を亀岡市までを南部、それより北を北部と分けた場合の回答者数は、南部が82人、北部が54人であった。「京都市内」・「京都市外(南部)」は男性の方が多いが、「京都市外(北部)」は男女同数であった。年齢構成では「京都市外(北部)」の回答者に年齢層が高い人の割合が高い。(図2-8, 図2-9)

図2-8 居住地(男女別)

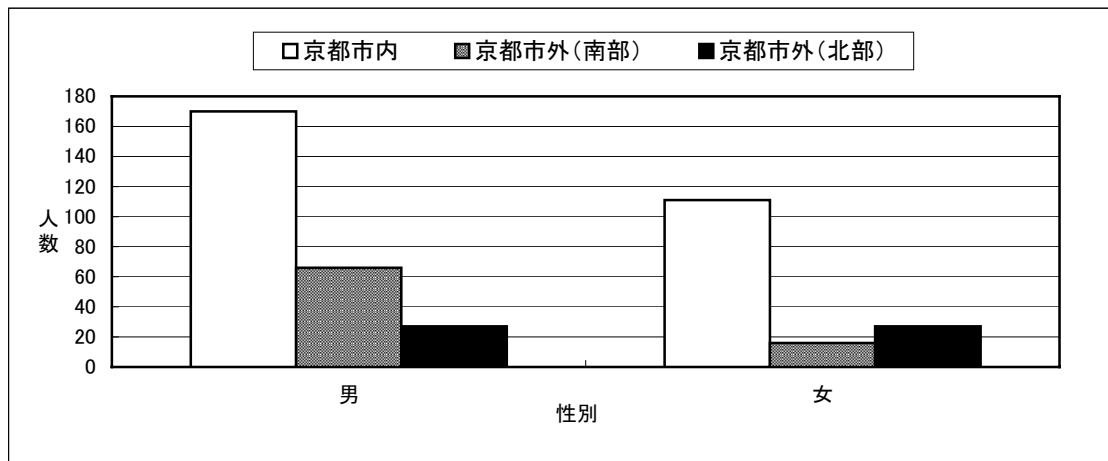
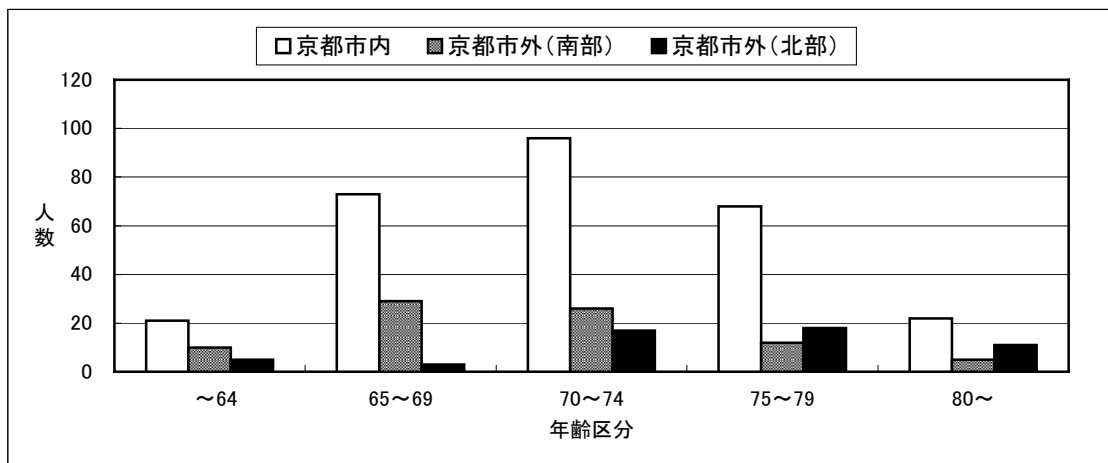


図2-9 居住地(年齢別)



**職歴:**職歴は「会社勤務」がもっとも多く(60.7%)、ついで「公務員」(25.4%)、「その他」(17.1%)と続く。職歴は性別による違いが大きく、男性に「会社勤務」が多い(73.9%)のに対して女性の比率はそれほど高くはなく(38.2%)、女性は「その他」の割合が高い(34.4%)。公務員については女性の方が比率が少し高い。(図2-10, 図2-11)

図 2-10 職歴(男女別)

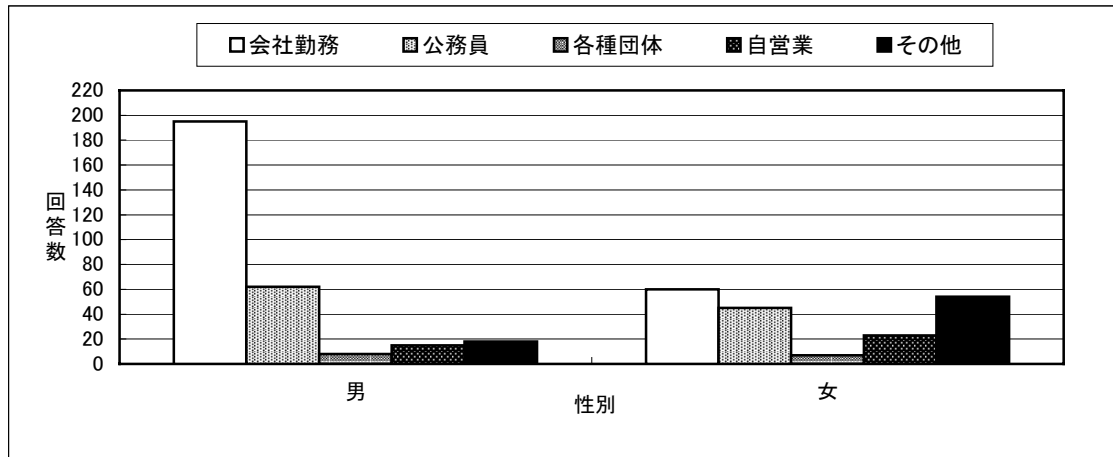
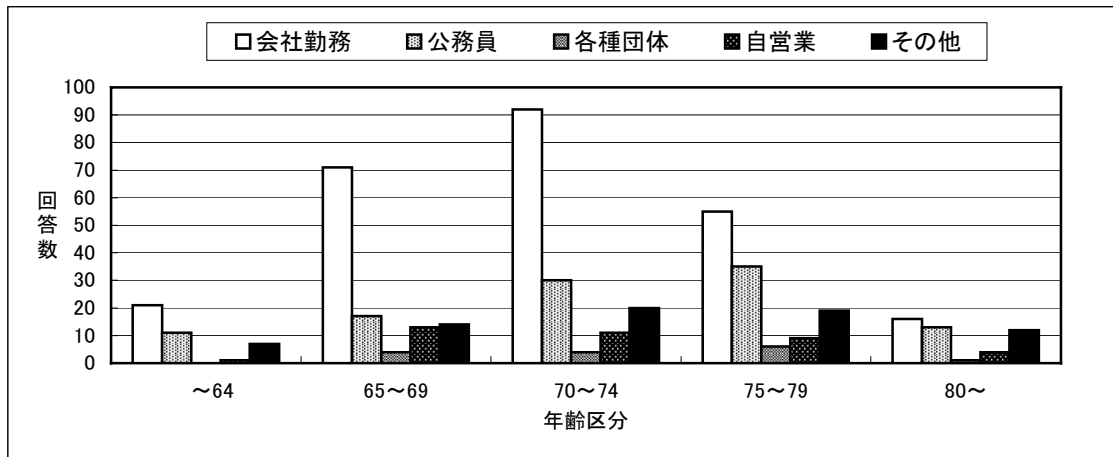


図 2-11 職歴(年齢別)



## 第2節 日常生活の満足度(問10)

つぎに回答者の日常生活への満足度についての回答を整理する。表2-1の数字はそれぞれの生活領域への満足度の平均点(満足:5、やや満足:4、どちらともいえない:3、やや不満:2、不満:1)である。

今回調べた日常生活の満足度のすべての領域で「どちらともいえない」の3点を上回る点数を示しており、総じて日常生活に満足している様子がみとれる。とくに満足度が高い領域は「日常生活全般」と「自由に使える時間」で、「友人・知人との交流」「家族等との交流」がそれに続く。これらのごく身近な領域への満足度が高いことに比べると、「身近な住民との交流」と「地域組織での活動」への満足度は低くなっており、ごく親しい間柄以外の人的交流に関しては満足度に関して改善の余地がある。

また、大きな差ではないが、人との交流の要素を含むすべての領域（「友人・知人との交流」「身近な住民との交流」「地域組織での活動」「家族等との交流」）で、男性よりも女性の方の満足度が高く、男性は逆に「仕事」での満足度が高い。男性が女性に比べて人づきあいを苦手としがちな傾向が表れている。「仕事」に関しては勤務者自身が49人と数が少なく、一部の回答者の傾向である点には留意する必要がある。

表 2-1 日常生活の満足度

		衣食住等日常生活全般	自由に使える時間	友人・知人との交流	身近な住民との交流	仕事	地域組織での活動	家族等との交流
性別	男	4.35	4.44	4.07	3.48	4.03	3.27	4.07
	女	4.32	4.42	4.23	3.61	3.67	3.32	4.17
～64		4.35	4.38	4.22	3.40	4.00	3.06	4.17
年齢区分	65～69	4.38	4.50	4.17	3.47	4.11	3.21	4.16
	70～74	4.33	4.51	4.05	3.51	3.69	3.22	4.02
	75～79	4.35	4.31	4.18	3.71	3.88	3.52	4.13
	80～	4.24	4.33	4.12	3.47	3.67	3.33	4.18
合計		4.34	4.43	4.13	3.53	3.92	3.28	4.11

### 第3節 SKYセンターにおける活動状況(問11, 12)

今回の回答者のSKYセンターにおける活動状況について整理する。

#### 参加しているSKY関連の活動団体

表 2-2 に参加しているSKY関連団体をまとめた。参加率の高い団体としては、サークル(45.0%)とSKY大学同窓研修会(35.3%)が抜きんでている。どこにも参加せずとの回答は全体で21.9%であり、8割近い人が何らかのSKY関連団体で活動している。

#### 参加しているサークルの種類

SKY関連団体の中でもっとも高い参加率を示していたサークルの文化系・スポーツ系別割合を示したものが図 2-12、図 2-13 である。文化系の方が少し多いが、その差は大きくはない(文化系:110人, スポーツ系:88人)。スポーツ系サークルへの参加は体力面での衰えを反映しやすいと考えられるが、70歳代の参加率は高く、80歳以上にならないとスポーツ系サークルへの参加者は減少しない。70歳代はまだまだ体力的にも十分活躍可能な人が多いことが示唆される。

表 2-2 参加しているSKY関連団体

	サークル	SKY大学 同窓研修会	SKY観光 ガイド協会	健生ネット ワーク京都	SKYライフ	団塊サロン	いきいき創 造グループ	その他	参加せず	合計
男	113	97	6	8	15	3	3	22	62	264
%	43	37	2	3	6	1	1	8	23	-
女	77	51	5	7	4	1	0	15	30	157
%	49	32	3	4	3	1	0	10	19	-
年齢区分										
～64	14	9	1	6	1	0	0	3	8	38
%	37	24	3	16	3	0	0	8	21	-
65～69	41	35	1	3	3	1	0	9	27	105
%	39	33	1	3	3	1	0	9	26	-
70～74	72	46	3	4	8	1	3	17	27	139
%	52	33	2	3	6	1	2	12	19	-
75～79	47	47	4	2	6	2	0	5	16	99
%	47	47	4	2	6	2	0	5	16	-
80～	14	11	2	0	1	0	0	3	14	39
%	36	28	5	0	3	0	0	8	36	-
居住地										
京都市内	143	112	5	12	15	1	3	27	46	281
%	51	40	2	4	5	0	1	10	16	-
市外(南部)	42	30	2	1	2	0	0	3	13	83
%	51	36	2	1	2	0	0	4	16	-
市外(北部)	4	7	4	1	2	3	0	7	32	54
%	7	13	7	2	4	6	0	13	59	-
京都府外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
%	0	0	0	100	0	0	0	0	0	-
合計	190	149	11	15	19	4	3	37	92	422
%	45	35	3	4	5	1	1	9	22	-

図 2-12 参加サークル種別(男女別)

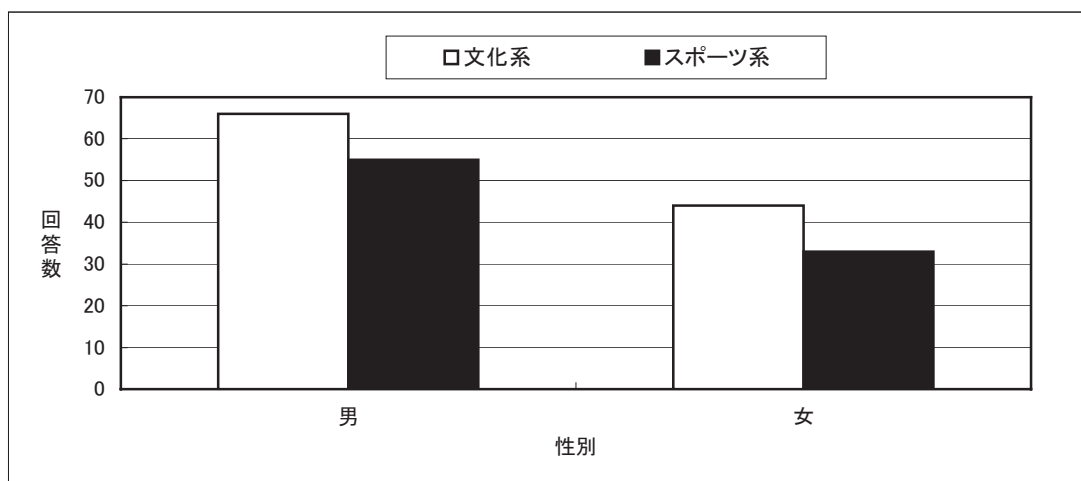


図 2-13 参加サークル種別(年齢別)

